

ぱおぱお ニュース

< 病気の豆知識 >

今月は... 『ヘルパンギーナ・手足口病』

いわゆる『夏かぜ』と呼ばれる感染症のうち、最も数多く見られるものです。両方とも、おもにコクサッキーウイルスが原因なのですが、症状の出方が少し異なります。乳幼児の間で流行します。以前にかかったことのある子でもまたうつる場合があります。

症状

☆ヘルパンギーナ

突然39度前後の熱が2~3日くらい続きます。
のどの奥に赤いブツブツや口内炎ができます。

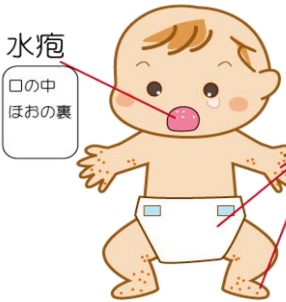


☆手足口病

発疹 その名のように手のひら・足の裏・口の中に小さな赤い水疱ができます。お尻やひざにもできることがあります。手足の水疱は痛がりませんが、口の中が痛くて食べられなくなることがあります。

水疱

口の中
ほおの裏



ひじ
おしり
手のひら
ひざ
足の裏

治療と登園・登校のめやす

治療には特効薬はありません。安静を保ち、自然に治るのを待ちます。
どちらも口の痛みのため「飲まない・食べない・むずがる」という事がよくあります。

『脱水』にならないように注意が必要です。

おしっこの回数が一日3回以上あるように水分を十分に与えてください。

ふゆ

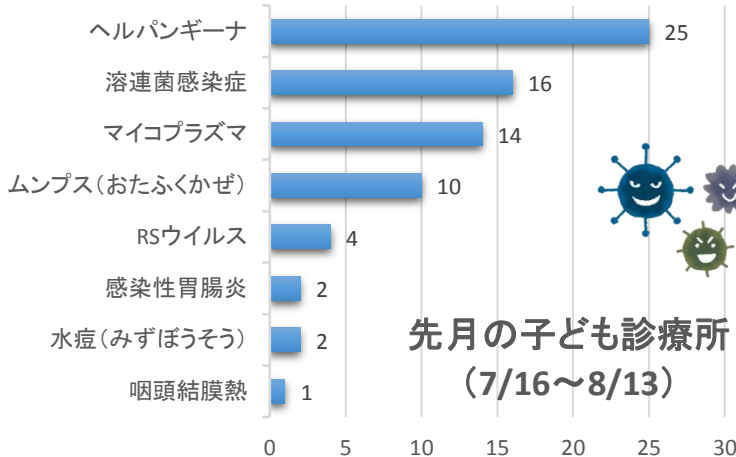
登園・登校は、熱がなく元気で口の中の痛みもなく、食事が摂れるようなら

発疹があっても登園・登校してかまいません。



高熱が3日以上続いたり、水分も摂れずぐったりしている場合には、早めに受診してください。

< 感染症情報 >



子ども診療所では...

・ヘルパンギーナのお子さんが目立ちました。
溶連菌やマイコプラズマのお子さんが続いていますね。
今年は手足口病の流行は少ないようです。

病児保育室ぱおぱおでは...

・急性上気道炎(いわゆる風邪)や
ヘルパンギーナのお子さんが目立ちました。
胃腸炎、突発性発疹症のお子さんもいました。

< 防災のお話 >

毎年9月1日は『防災の日』

突然にやってくる災害からお子さんを守るためにも、日頃から備えを万全にしておく事が、安心した毎日につながりますよね。
家族で防災意識を高める為にも、この機会に話し合ってみてはいかがでしょうか？

- 自治体が配布している『ハザードマップ』を入手しましょう。
住んでいる地域の避難場所や避難ルート、災害時に拠点となる病院などが書かれています。おはなし。



国土交通省の『ハザードマップポータルサイト』でも検索できます。

- 避難バッグを見直しましょう。
一番大切なものは“命”です。防災グッズが充実していると安心ですが、重量オーバーになっていませんか？“持てる・使える・助かる”が基本です。



小さいお子さんがいる場合の避難には、ベビーカーは使わず

抱っこ紐・おんぶ紐で避難しましょう。両手が空き、

自由に使えることもポイントですね。

- 家族との連絡方法を確認しておきましょう。
携帯電話は使えなくなることを想定し、NTTの「災害伝言ダイヤル(171)」なども活用しましょう。家族で事前に体験利用しておくとう安心ですね。

毎月1日・15日に体験利用できますよ。

<スマイルコーナー> 病児保育室での心温まるエピソードなどをご紹介しますね。

シャイなお兄さんだけど…

T君(7歳)は二人兄弟のお兄ちゃん。甘え上手な弟君とは対照的で、とってもシャイなT君。そして年齢的にもちよっぴり反抗期なのもあり、照れ隠しに拍車をかけ、保育士が話しかけても「やーだよ」「つまんねー」「めんどくさー」「しらねー」。。。。。



そんなT君ですが、午後の診察時、保育士が「T君もしもしするよー。」と声をかけると、「ドスン」と保育士の膝に座ってきて、ここぞとばかりにしな垂れ掛かるT君。恥ずかしそうにしながらもちよっぴり嬉しそうで、とても可愛い表情でした。(S)



保育室のご利用には 事前の登録が必要です!



新規ご登録は随時行っております。まずはお気軽にお電話を♪

お問い合わせ 病児保育室ぱおぱお(月～金 8:30～17:30)

TEL 042-521-2777